

研究課題名	眼内腫瘍の診断・治療・予後に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間 泰一郎
研究期間	実施許可日 ~ 2030 年 3 月 31 日
対象者	2012 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日 の間に広島大学病院眼科で眼内腫瘍と診断された患者さんを対象とします。
意義・目的	眼内腫瘍は大きく悪性と良性、原発性と転移性に分かれ、稀な疾患です。眼内悪性リンパ腫、ぶどう膜悪性黒色腫、網膜芽細胞腫等の悪性腫瘍をはじめとして、中枢神経系原発悪性リンパ腫の眼内再発や乳がんからの眼内転移等、速やかな診断・治療がその後の生命予後に大変重要です。当院での眼内腫瘍の診断・治療・予後を後ろ向きに検討することで、当院における眼内腫瘍の疾患のうちわけと、それぞれの治療成績を把握することができます。こうして得られた知見により、より適切な診断方法、再診頻度への改善、より良い予後を目指した治療選択が可能になることが期待されます。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。診療録情報の利用開始日は実施許可日(2021 年 5 月 14 日)です。カルテから使用する内容は性別、症状発症年齢、診断年齢、追跡期間、患眼、眼所見、診断方法、細胞診、治療、再発率、診断から再発までの期間、再発後の生存率です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし(本学単独で実施する研究のため、外部への試料・情報の提供はありません)
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間 泰一郎
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5247 広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 近間 泰一郎 原田 陽介 日山 知奈</p>